土庄町まち・ひと・しごと創生人ロビジョン

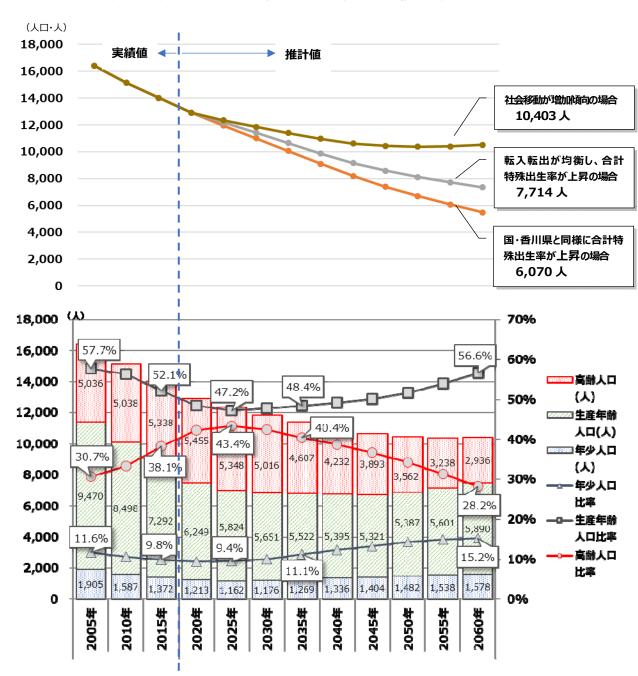
1. 計画の目的

今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものであり、第1期土庄町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンを国勢調査等の最新データに更新し、改定しています。この中期目標を令和21年度末(2040年3月)、長期目標を令和41年度末(2060年3月)とします。

2. 人口の将来展望

転出超過による社会減は継続し、国及び香川県と同様に、合計特殊出生率が令和22(2040)年に2.07程度まで上昇すると仮定した場合、本町の人口は、令和42(2060)年に6,070人と推計されます。そこで、転入と転出が均衡し、かつ、合計特殊出生率が上記の通り上昇すると、令和42(2060)年に7,714人と推計されます。また、総合戦略を着実に実施し、若者の流出抑制及び流入促進を行うことにより、令和2(2020)年~令和22年(2040)年に社会移動が微増し、その後も増加傾向が続くと、令和42(2060)年に10,403人と推計され、緩やかな人口減少の後、緩やかな人口増加に転じるが想定されます。

このとき、高齢化率は2025年に43.4%のピークのあと、2060年に28.2%になると想定されます。



図表:人口展望と 2060 年に 10,403 人とする場合の人口構成の推計

第2期土庄町まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 計画の目的と内容

総合戦略は、人口減少と地域経済縮小を克服し、長期的に、地方で「ひと」をつくり、その「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」をつくる流れを確かにするための計画です。土庄町では、平成27年に策定した「土庄町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と「土庄町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、様々な施策を実施してきましたが、「第2期土庄町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、第2期総合戦略)では、施策の検証を行うとともに、より一層の関係省庁及び団体との連携を強化し、目指すべき将来像に向け、今後5か年の目標や施策の方向性を示します。第2期総合戦略の期間は、令和2(2020)年度~令和6(2025)年度の5年間とし、土庄町総合計画を上位計画とし、他計画で行われている施策と連動しながら、計画を進めていきます。

2. 第1期総合戦略の成果と課題

第1期総合計画で取組まれた各施策の進捗状況は以下の通りです。この進捗状況と、新たに考慮すべき社会情勢を踏まえ、第2期総合戦略では下記の6つの課題に対応する施策等を検討します。

図表:第1期総合戦略の進展状況と第2期の課題

第1期で取り組んだ主な施策の進展状況

【基本目標1】 人の流れを創る

進捗した施策

- ・地域資源等を活用した新たな魅力づくり
- ・周遊性向上による観光利便性強化
- ・体験型観光の推進
- ・大学等学校との連携による交流創出
- ・交流拠点の整備
- •移住促進
- ・定住促進

停滞した施策

- ・インバウンドによる新たな需要創出
- ・多様な滞在プログラムの充実

【基本目標2】 魅力ある産業を創る

- ・産業振興による生産性向上支援
- ・農畜水産物の消費促進
- ・地域経済を牽引する民間事業者への支援
- ・担い手の確保
- ・新たな雇用を生み出す企業誘致

【基本目標3】子育てを楽しめる環境を創る

- 結婚支援
- ·子育T支援
- ・教育環境の充実
- •環境整備
- ・啓発活動の強化

•環境整備

【基本目標4】 時代に合った住みやすいまちを創る

- ・医療体制の整備
- 高齢者の健康寿命延伸
- ・安心できる生活基盤の整備
- ·官民協働の地域活動推進
- ・民間ストックを活用した総合戦略の推進
- ・まちづくりを担う人材の確保
- ・行政ストックを活用した総合戦略の推進
- ・ 圏域全体の経済成長の牽引
- ・高次の都市機能の集積・強化
- ・圏域全体の生活関連機能サービスの向上

【考慮する社会情勢】

- ◆厳しい財政下での行政運営と協働
- ◆新技術の進展
- ◆海外(アジア諸国)との関係
- ◆ S D G s 「持続可能な開発目標」への取組

第2期における課題

【課題1】

インバウンド観光を割りの追い風 を、地域経済への取込促進

【課題2】

積極的な働く場所の確保

【課題3】

移住定住のさらなる取組

【課題4】

子育で環境のさらなる充実

【課題5】

関係人口の創出・拡大

【課題6】

地方創生人材の育成

3. 総合戦略の施策一覧

第2期総合戦略では、新たに施策、事業を加え、計画を進めます。

基本目標	施策の基本的方向		具体的な施策	第2期で追加した事業例抜粋
1. 人の流れを創る	(1) 交流人口 の増加によ る賑わいづ くり	I. 観光 の振興	①地域資源等を活用した新たな魅力づくり	・アートセンター機能の整備 ・日本遺産の活性化 ・資料館の整備 ・豊島「食プロジェクト」の推進 ・スポーツイベントの開催後・開催療政 ・文化財等の継承
			②周遊性向上による観光利便性強化	・土庄東港の整備・エンジェルロード周辺の駐車場対策
			③体験型観光の推進	・空き家を活用した民泊の推進
			④インバウンドによる新たな需要創出	・マルシェ・ナイトマーケット等の開設・土淵クルージングの開発
			⑤継続的な関係づくりの推進(新)	・土庄DMOの整備 ・ふるさと納税の推進 ・企業版ふるさと納税の推進
		II. 島外からの 交流促進	①大学等学校との連携による交流創出	・インターンシップ
			②多様な滞在プログラムの充実	・スポーツイベントの開催催・開催療
			③魅力的な教育による交流創出〈新〉	・島留学の実施
			④交流拠点の整備	・サテライトキャンパス、
	(2)移住・定住による		①移住促進	·移住者実態調査分析
	流入人口の増加		②定住促進	・シェアオフィスの開設
2. 魅力ある 産業を創る	(1) 地場産業の強化による 安定した雇用		①産業振興による生産性向上支援	・新技術導入の支援
			②農畜水産物の消費促進	・直売所・アグリパークの整備
			③担い手の確保	・地域おこし協力隊、創業支援
	(2) 地域経済を牽引する新 たな活力創出		①新たな雇用を生み出す企業誘致	・シェアオフィスの開設
			②地域経済を牽引する民間事業者への支援	・地元企業と大学等の連携推進
			③新たな商品・サービスを生み出す創業支援新)	·創業支援 ·実証実験支援事業
3. 子育てを 楽しめる環 境を創る	(1) 結婚から子育てまでの 切れ目ない支援		①結婚支援	
			②子育て支援	
			③教育環境の充実	
			④環境整備	
	(2) ワークライフバランスの推進		①啓発活動の強化	
			②子育て支援(再掲)	
			③働く女性の活躍推進	・シェアオフィスの開設
4. 時代に合った住みやすいまちを創る	(1) 安心・安全・安定の まちづくり		①医療体制の整備	·巡回診療
			②高齢者の健康寿命延伸	・遠隔健康福祉サービス
			③安心できる生活基盤の整備	・Maas 等の新たなモビリティサービス
			④官民協働の地域活動推進	・公民館のコミュニティセンター化 ・小さな拠点の形成 ・地域協議会の設置支援
			⑤まちづくりを担う人材の確保	・地域おこし企業人 ・地域おこし協力隊 ・町球企業都均譲渡交流場の設置 ・リカレント教育のための体制整備
	(2) 既存ストックの有効活用		①行政ストックを活用した総合戦略の推進	
			②民間ストックを活用した総合戦略の推進	
	(3) 連携中枢都市圏による 広域連携の推進		①圏域全体の経済成長の牽引	
			②高次の都市機能の集積・強化	
			③圏域全体の生活関連機能サービスの向上	